

# スサノオ大橋が完成

尾原ダム湖 さくらおろち湖を跨ぐ橋である、スサノオ大橋と、その周辺道路が完成し、八月五日、開通式が行われました。

スサノオ大橋は、ダム湖を跨ぎ、奥出雲町佐白と雲南市木次町をつなぐ、尾原ダム関連事業の中では最長となる二

百五十二メートルの橋です。奥出雲町道・山方尾崎線（延長七百十六メートル）と雲南市道・尾崎山方線（延長八百二十六メートル）の一部として、平成十六年十一月に着工し、総事業費約十五億円を掛け整備されました。

この日の式典には、

事業主体である国土交通省出雲河川事務所をはじめ、行政関係者や周辺地区住民など約四十人が出席しました。

式では、国土交通省出雲河川事務所の平山大輔所長から、「この橋の完成で、まさに奥出雲町と雲南市が結ばれた。地域の交流軸として、人や物、地域の文化の架け橋となつてほしい」とあいさつがあり、井上町長からは「この橋を軸に、周辺地域

橋上で行われた開通式の様子



が一体となって地域の活性化に取り組み、多くの人たちをお迎えるよう取り組んでいきたい」と話し、橋の完成による、市町の枠を越えた地域活性化にそれぞれ期待を寄せました。

関係者によってくす玉が割られた後には、渡り初めを行い完成を祝いました。

橋の上からは、ダム湖が一望できるほか、今後ダム湖で開催される、ボート競技の絶好の観戦ポイントとなります。

## ホッケー日本リーグ

### セルリオ島根ホームゲームで初勝利

高円宮杯2011男子ホッケー日本リーグ第六節の試合が七月九日と十日、三成公園人工芝ホッケー場で開催されました。

セルリオ島根は九日、岐阜朝日クラブと対戦。セルリオ島根は前半二点、後半一点と岐阜朝日クラブの猛攻に三点を許してしまいました。後半二十六分にフォワードの船木孝幸選手、続く三十四分にはミッドフィルダーの高橋伸也選手が得点。巻き返しを図りましたが、終了間際に失点



シュートを放つ高橋選手

し、二対四で惜しくも敗れたものの健闘しました。

ホームゲーム二日目となる十日には、今期五勝を上げている小矢部レッドオックス（富山）と対戦しました。

この日は、前半八分にペナルティコーナーから高橋伸也選手が先制点を決め、幸先の良いスタートを切りました。十四分に失点を許すものの二十七分にミッドフィルダーの原幸寿選手が得点し前半を終えました。

良い流れのまま迎えた後半では、一点を失うものの、十四分にフルバックの伊藤直登選手、二十三分に船木孝幸選手が得点。四対二で快勝しました。

今回の勝利は、セルリオ島根となり六年目にして、ホームゲーム初勝利となり、喜びも一層大きなものとなりました。

また会場には、多くの観客やサポーターが訪れ、選手たちに熱い声援を送っていました。



### トップ選手からホッケーの楽しさを学ぶ

七月九日の試合の後には、子どもたちがホッケー日本リーグの選手から直接指導を受ける「キッズスクール」が開催されました。

このキッズスクールは、競技人口の底辺拡大などを目的に、日本リーグの選手が主体となって開催し、小中学生約五十人が参加しました。

指導に当たったのは、同日試合を行った、セルリオ島根など六チームの選手。子どもたちは各年代に分かれ、パスやシュートの仕方を教わったりミニゲームを行いました。

約一時間の指導を通して、互いに交流を深め、ホッケーの技術だけでなくプレーする楽しさを学んでいました。

## いのちの重さを肌で体験

### 横田高校生が奥出雲病院で職場体験

八月三日、町立奥出雲病院が、将来の医療分野での人材確保や高校生の職業教育支援の目的とした「高校生の医療職場体験会」を開催し、十八人の横田高校生が医療現場で体験実習を行いました。



幼い命の大切さを実感

助産師の実習では、赤ちゃんの体のしくみや抱き方などの説明を受け、沐浴や脈拍の測定などを行いました。実際に赤ちゃんを抱きかかえると、可愛さに笑みがこぼれる場面もありましたが、新しい命が生まれることの喜びや大切さを肌で感じていました。



リハビリ実習を行う石原さん

また、理学療法士の実習では、実際に患者さんにリハビリ指導を行いました。理学療法士の実習を行った石原可菜さん（二年）は「母が福祉分野で仕事をしているので、この職種を志望した。実際に患者さんに接してみると、健康で普通の生活を送ることができるとの大切さを改めて感じました」と話し、自ら体験することで、この職業の重要性を感じていました。

## 中国五県の小学生ホッケーチーム 競技を通して 交流を深める

中国地方各県の小学生ホッケーチームの交流とホッケー競技の底辺拡大を目的とした、第二十八回中国小学生ホッケー交流大会が七月十六日と十七日の二日間、三成公園人工芝ホッケー場で開催されました。



懸命にプレーする子どもたち

### 大会成績

- 男子一部 参加五チーム
  - 優勝 瀬戸ブルーシャーク（岡山）
  - 準優勝 馬木ホッケースポーツ少年団
  - 優 勝 女子一部 参加四チーム
    - 優勝 馬木小学校ホッケースポーツ少年団
    - 準優勝 津ノ井ホッケークラブ（鳥取）
    - 優 勝 八川ブルードラゴン
    - 女子二部 参加十一チーム
      - 優勝 熊山エンジェルベアーズ（岡山）
      - 準優勝 熊山エンジェルベアーズ（岡山）